

町田市の文化芸術の特徴（中間現状分析）

（１）生活に密着した文化に親しんできた土壌がある

○版画・工芸

- ・時代を表す版画の分野に特化した専門性が高い施設として、町田市国際版画美術館がある。
- ・東南アジアの陶磁器コレクションなど国内トップレベルの工芸品収蔵品があり、生活に密着した文化に触れられる環境がある。
- ・1年間に美術館に出かけて鑑賞した市民は27.5%おり、映画（アニメ除く）30.7%に次いで2番目に多い。
- ・市民が1年間に文化芸術を鑑賞した場所について、市内施設では、国際版画美術館が19.3%と最も高い。
- ・市内文化芸術施設の認知度について、国際版画美術館は60.4%で、町田市民ホール73.8%に次いで2番目に多い。

○生活文化

- ・町田市文化祭、新春文化の祭典、春の文化祭など毎年参加者が増えている。
- ・茶道会の月例茶会や親子で楽しむ茶会、学校での体験学習など、市民が日常的に茶道に触れている。
- ・金井の獅子舞や大戸囃子など無形文化財があり、郷土芸能まつりが開催されている。
- ・落語について普及活動をしている団体があり、一流の落語家も来ており、また高齢者施設等での落語に人が集まる等地域に落語が根付いてきている。

○縄文時代の遺跡

- ・町田市には約900ヶ所の遺跡があり、そのうち8割が縄文時代の遺跡である。
また、縄文時代を6つにわけた時代のどの時代の遺跡も存在している。
- ・横穴墓群が100個以上あり、日本で最も駅から近い縄文時代のストーンサークル東京都指定史跡田端環状積石遺構がある。
- ・国宝に似た町田市指定有形文化財「中空土偶頭部」が出土されている。
- ・日本で最も駅から近く、都内で唯一見学できる縄文時代のストーンサークル東京

都指定史跡田端環状積石遺構がある。

- ・文化財・遺跡・歴史的な街並みなどに出かけて鑑賞した市民が 22.6%いる。

(2) 音楽に親しんできた土壌がある

- ・ライブハウスやスタジオ、楽器店などポップスミュージック活動の土壌が 40 年前からある。
- ・ストリートダンス活動の土壌がある。
- ・全国合唱大会で優勝している鶴川第二小学校・中学校の合唱部が活動している。
- ・町田でホームタウン公演を行ってきた音楽座ミュージカルや、オペラの公演を 20 年間行ってきた町田シティオペラ協会がある。
- ・町田を中心に全国規模のバレエやピアノのコンクールを行う、歴史ある団体が活動している。
- ・1 年間にホール等でポピュラー音楽を鑑賞した市民が 15.5%いる。
- ・文化芸術活動団体の約 4 割が音楽分野で活動している。
- ・文化芸術の中でしたいと思うジャンルは小学生～高校生まで、映画・アニメに次いで、音楽が 2 番目に多い。